


③多度津町(58685)

SL静態保存活動調査表(1/3)

SL名称	保存場所	保存開始年月	保存団体	保存活動内容		活動団体		SL活躍の主線区	記事
				作業	回数	代表者	活動数		
8620形式 58685 T11.10.20 汽車会社 製造	JR多度津駅 前広場から 100m東方 に移設 (h8.10)	s45.10 (1970/4)	多度津町	多度津分会役員10名程度で 年末(12/25)にSLの水洗いと 駅前広場の動輪の清掃をして しめ縄の飾り付けをしている。	年1回 (毎年12月 25日)実施	多度津分会 分会長 (嶋田安宏)	会員 班長以上 10名程度 会員以外 0名	国府津機関庫 高島機関庫 高崎機関庫 新小岩機関庫 小松島機関区 s11.11~高德・徳島線 s44.1退役 全走行キロ (2,643,771キロ)	h23.4.5、SLの保守保存の要望書を多度津町長宛て提出。 (・SLを5年おきに定期的に塗装等の修繕をして美観を失わないようにとの要望)
保存の由来				由緒					
<p>・多度津町はこんぴら参拝の玄関口として古くから栄えてきた町である。M22.5.23、当地に四国鉄道の前身である讃岐鉄道会社が創設され、多度津を起点に丸亀～琴平間が開設されてより、地域の文化の興隆は著しく今日の多度津町発展の基礎が築かれたのである。近年、時代の進展に伴い、地域住民の経済文化の交流に先導的役割を果たしながら走り続けてきた懐かしの蒸気機関車も動力近代化のため廃止されることとなったが、四国地区で活躍した8620形式を四国鉄道発祥の地である多度津町に保存し社会教育資料とするものである。</p> <p>・保存状態:良好。 ・屋根付き。サビの侵食が見られるので多度津町に塗装を依頼(h24.12) ※h17頃に全体塗装実施。</p>				<p>・最高時速90km/h。機関車が国産量産化された頃につくられ当時製作された機関車の中でも一番長く活躍した。優雅なスタイルで人気を集め、性能、使い易さともに良く大正時代の国鉄を代表する機関車の一つとして四国地区でも乗務員たちに人気があった。</p> <p>この機関車も無煙化とともに廃車となったが、過去の栄光を記念して四国鉄道発祥の地に保存されることになった。</p> <p>・JR多度津駅より徒歩2分</p>					
				<p>・地図</p> 					

③多度津町(58685)

SL静態保存活動調査表(2/3)

現姿その他



h24.12.25
清掃、しめ縄飾り活動(多度津分会)

H25.2.1

h25.2.3

③多度津町(58685)

SL静態保存活動調査表(3/3)

現姿その他



上段:現姿 h24.12.25
保存当時 s45.10(駅前広場に展示)

※上段中央はJR多度津駅前広場。
(モニュメントは8620形式の動輪)

左・下段 s57.2

